

今月の一言 韓国のある成長著しい大都市の衰退した旧中心市街地の再生マスタープランニングに取り組んでいます。先日当地で最終プレゼをしましたが、その席で市長が「このエリアの住民はわが都市の発展の基礎を作った方々だ。その再生は市民総がかりで取り組むべき」と、都市における成長エリアと衰退エリアの整備事業の関連づけの必要性を強調されました。都市再生事業推進の視点として、大変印象に残りました。(安 昌寿)

Topics

▶ 弊社では、業務範囲の拡大と充実を図るべく1月より組織を改編し、取締役会において、松縄 堅(取締役副会長)が代表取締役社長に選任されました。

「魅力2倍で、環境負荷1/2の街づくり・都市づくり」

明けましておめでとうございます。

都市問題や環境・エネルギー問題に係わるシンクタンクとして、日建設計総合研究所(NSRI)を昨年4月に開設致しました。お蔭様で、何とか軌道に乗る見通しを得ることができました。



偏に皆様からお寄せいただいたご厚情の賜物と心から感謝申し上げます。各方面より、予想以上にご期待をいただくと共に励ましのお言葉を頂戴致しました。ご期待に応えるべく

本年1月1日より組織の改変・拡充を図りました。「都市経営」や「環境・エネルギー」に係わる政策提言、各種調査、具体の計画提案など、シンクタンクとしての業務サービスの充実を目指して、人員の倍増を図りました。また、日建設計に所属していた都市建築研究所を「都市・建築研究センター」として新たに統合し、「都市経営フォーラム」や「セミナー」の開催など、社会提言機能を充実させる体制と致しました。

上記の体制増強を踏まえて、当研究所では「持続可能な社会の創造」に貢献すべく、「Factor Xの建築づくり・街づくり・

都市づくり」を目指して本年より本格的な活動を展開させる所存です。「魅力2倍で、環境負荷1/2の街づくり・都市づくり」を当面の合言葉に、施策提言や具体の街づくり計画などに取り組んで行きたいと念じております。

「魅力2倍の街づくり・都市づくり」は地域によって期待するところや狙いは異なると思われます。共通する課題としては、安心・安全な街(都市)、賑わいと活力のある街(都市)、緑と景観に配慮した魅力的な街・都市、経済的・文化的に国際競争力のある都市の実現等が挙げられるかと存じます。これらに加えて地域の特性・ご要望を十分に把握・反映した提案や実現が持続可能な都市の構築に向けて肝心と思っています。

一方、環境問題も緊急の課題です。中でも、COP3の見直しが発展する兆しを見せています。CO2発生量の90%近くを占める都市の環境負荷(例えば、東京都;図-1)を低減するには、都市を構成する建築と交通系との環境負荷低減がキーと考えます。「環境負荷1/2の街づくり・都市づくり」の実現に向けて日建設計グループの経験を活かして提案してゆく所存です。

皆様からの、倍旧のご指導・ご鞭撻、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。(松縄 堅)

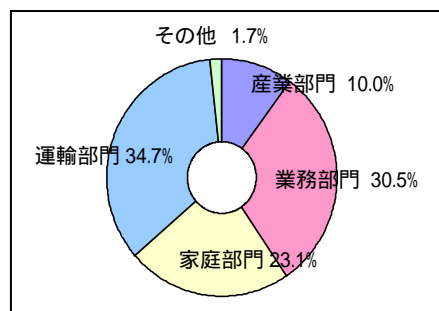


図-1 東京都のCO₂排出量の内訳

定期配信をご希望の方

定期配信を御希望の方は、下記メールアドレスまでご連絡をお願いいたします。

(chihiro.kimura@nikken.co.jp 担当: 木村千博)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年4月のNSRI設立とともに配信を始めましたVIEWはおかげさまで8号を迎えました。今年もNSRIの取り組みや提案を、VIEWを通じてわかりやすくお伝えしていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。(K)